学校番号 404

平成31年度　国語科

教科	国語	科目	古典B	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「新　高等学校　古典B」（明治書院）						
副教材等	「これからの古典文法」（尚文出版）「古典文法練習ノート」（尚文出版」「カラー版新国語便覧」(第一学習社)						

1. 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・3年生では、1，2年生で学んだことを発展、応用し、今までより難易度の高い内容を学習します。
・既に学んだ文法、作品に関する知識を復習し、確実に定着させておきましょう。
・意欲を持って授業に臨み、予習・復習を行なうこと。自分の理解度や苦手な点を知り、対策することが大切です。
・定期考査や受験に向けて、計画的に勉強すること。

2. 学習の到達目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：話す・聞く能	c：書く能力	d：読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重して其の向上を図ろうとしている			古典を読んで、内容及び思想や感情を、構成や展開に即して的確に捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとする。	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身につけている。
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・学習課題の提出			・発問評価 ・学習課題の提出	・発問評価 ・学習課題の提出 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1	「源氏物語」 光源氏誕生 物の怪の出現	・話のおもしろさを理解する。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・和歌を含む物語を読んで、物語における和歌の役割を考える。 ・敬語や助詞、助動詞の知識の確認をし、解釈にいかす。	○			◎	◎	a：教材に興味を持って学習に取り組んでいる。 b： c： d：構成・展開を理解し、正しく現代語訳している。 e：重要語・文法表現・文学史について理解を深めている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査
1	「史記」 四面楚歌	・中国の史話を読み、歴史書の面白さを味わい、漢文に親しむ。 ・本文を訓点に従って音読し、書き下し文に改める。 ・重要な句形について理解する。 ・登場人物のものの見方、感じ方、考え方、その時代の風潮や背景について理解する。	○			◎	○	a：教材に興味を持って学習に取り組んでいる。 b： c： d：構成・展開を理解し、正しく現代語訳している。 e：重要語・文法表現・文学史について理解を深めている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査
2	「大鏡」 三船の才 南院の競射	・歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・文章の表現上の特色を理解する。	○			◎	◎	a：教材に興味を持って学習に取り組んでいる。 b： c： d：構成・展開を理解し、正しく現代語訳している。 e：重要語・文法表現・文学史について理解を深めている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査
2	「無名草子」 文	・既習の古文知識をふまえ、更に新しい古文読解上の技術や知識を習得する。 ・作者、作品に関する文学史的知識を深め、作品の特色や味わい方を習得させる。 ・評論文学の特徴を捉えさせ、作者の批評精神に触れて、生徒自身の自己確立に寄与させる。	○			◎	◎	a：教材に興味を持って学習に取り組んでいる。 b： c： d：構成・展開を理解し、正しく現代語訳している。 e：重要語・文法表現・文学史について理解を深めている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査
2 3	孟子 荀子	・中国古代の思想や著作について理解する。 ・本文を正しく書き下し、現代語訳する。 ・『論語』で説かれている政治思想を理解する。	○			◎	○	a：教材に興味を持って学習に取り組んでいる。 b： c： d：構成・展開を理解し、正しく現代語訳している。 e：重要語・文法表現・文学史について理解を深めている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査

※ 表中の観点について　　a：関心・意欲・態 b：話す・聞く能力

c：書く能力　　d：読む能力　　e：知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。